

# 【外国語・中2・「Unit6 A Speech about My Brother」】①

## 育成を目指す資質・能力

教師の友人である他校のA L Tの先生に学級の生徒について知ってもらうために、英語で友達を紹介することができる。

## ICT活用のポイント

・他校とWeb会議システムでつなぎ、実際に友達紹介を行う場面を設定することで、より必要感のある目的・場面・状況となるようにする。

ペアで人物紹介のスマールトーク

電子黒板で先生が活動の実演  
(他校のA L Tの紹介)

学習支援ソフトを用いてタブレットを活用した練習

Web会議システムで他校のALT  
とつなぎ、友達紹介

## 事例の概要

### <目的・場面・状況>

「この学級は自慢の学級である。是非、友人である他校のA L Tに、紹介したい。自分でいいところを紹介するのは照れてしまうだろうから、友達の良いところを紹介して欲しい。ビデオレターを作成して送付しよう。」

### 【ICT活用の場面と目的】

- ・各生徒が自分の友達紹介について振り返る場面で、実際に紹介相手であるA L TとWeb会議システムでつなぎ、生徒が直接話をするすることで、相手意識や活動への必要感を高められるようにした。
- ・紹介相手のA L Tには、意図的に友達についての質問を行うように事前に打ち合せをしておき、本時で練習した表現が実際に活用できた喜びや達成感を味わえるようにした。

＜導入＞【電子黒板を用いて他校のA L T



の紹介（活動の実演）】

＜展開＞

【学習支援ソフト



を用いて作成したスライドを用いて練習】



＜終末＞【Web会議システムで他校とつなぐ】

○ICT活用の場面や目的、児童生徒及び教師へのメリット等

導入…電子黒板を用いて他校のA L Tを紹介

※生徒に目指したいゴールの姿と活動の概要を把握させる

展開…学習支援ソフトを用いて作成したスライドで練習

※スライド作成への時間短縮、効果的な紹介をするためにスライドの順番を容易に修正できる。

終末…Web会議システムで他校のA L Tとつなぐ。

※友達紹介を修正改善する視点として、実際の紹介相手と直接話をする事で、相手意識を高めるとともに、活動への意欲を高める。

○ICTを効果的に活用するためのポイント

・タブレット活用では、「資料作成の時間短縮」「資料修正の簡便さ」など、タブレットならではの利便性を考え活用

・Web会議システムの活用では、「他校とつなぐ」という「今までやりたかったけれどできなかったこと」という視点で活用